

人間総合科学研究群(東京)

前期_カウンセリング学位プログラム

前期_リハビリテーション科学学位プログラム

前期_スポーツウエルネス学学位プログラム

※ 選考方法を確認してください。

科目の申請にあたっては、開設授業科目一覧の「申請条件」欄にかかわらず、ホームページ掲載の「選考方法について」を参照し、選考方法、面接までの流れを確認してください。

出願前に必ず教育組織に連絡し、面接日時等を確認してください。

学位プログラム名	受入有無	選考方法	面接者	面接日時（春学期）	面接日時（秋学期）	留意事項	連絡先
カウンセリング学位プログラム（博士前期課程）	有	書類審査及び科目により面接	授業担当教員	3/2（土）～3/9（土） 本人と打ち合わせの上、決定	7/6（土）～7/13（土） 本人と打ち合わせの上、決定	科目により面接を実施します「科目一覧」を参照し、面接有科目を申請する場合、出願期間中に右連絡先に連絡してください	businessentrance@un.tsukuba.ac.jp
カウンセリング科学学位プログラム（博士後期課程）	無						
リハビリテーション科学学位プログラム（博士前期課程）	有	書類審査及び科目により面接	授業担当教員	3/2（土）～3/9（土） 本人と打ち合わせの上、決定	7/6（土）～7/13（土） 本人と打ち合わせの上、決定	科目により面接を実施します「科目一覧」を参照し、面接有科目を申請する場合、出願期間中に右連絡先に連絡してください	businessentrance@un.tsukuba.ac.jp
リハビリテーション科学学位プログラム（博士後期課程）	無						
スポーツウエルネス学学位プログラム（博士前期課程）	有	書類審査及び科目により面接	授業担当教員	3/2（土）～3/9（土） 本人と打ち合わせの上、決定	7/6（土）～7/13（土） 本人と打ち合わせの上、決定	科目により面接を実施します「科目一覧」を参照し、面接有科目を申請する場合、出願期間中に右連絡先に連絡してください	businessentrance@un.tsukuba.ac.jp
スポーツウエルネス学学位プログラム（博士後期課程）	無						

カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)

専門科目(カウンセリング学位プログラム_博士前期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATD301	生涯発達臨床心理学I	1	2.0	1・2	春AB	土2,3	1F119講義室	安藤 智子	胎生期から成人期までの発達とそれを支える環境について概説する。また、乳幼児期から発達過程における心理臨床的な課題や、支援について論じる。特に、実験や観察等の映像も用いながら、具体的な行動のどこに発達的な特徴や支援の視点をみることができるのかを提示する。	対面			カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)
OATD303	学校心理学	1	2.0	1・2	秋AB	金7,8	1F118講義室	飯田 順子	一人ひとりの子どもを対象とした心理教育的援助サービス(アセスメント、カウンセリング、コンサルテーション、コーディネーション)の理論と実践の体系である「学校心理学」について、講義、文献講読、実習を通して学習する。具体的には、現代の子どもがもつ学校生活での苦戦に対応した心理教育的援助サービスについて、実践例を通して検討する。また援助サービスのシステムやコーディネーターの役割について焦点をあてる。*「学校心理士」申請における必須科目である。	西暦偶数年度開講。対面、オンライン(同時双方向型)			カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)
OATD304	学校教育相談	1	2.0	1・2	秋AB	木7,8	1F118講義室	藤生 英行	認知行動カウンセリングの視点から、学校教育相談の実践について理解を深める。とくに学校不適応の心理、不登校、いじめ、自殺予防、学校危機介入の課題を取り上げて講義する。履修学生は、以下の授業発表レポートが課される。 障害発達の観点から(教育)相談の対象となる病理について、DSM-5、カプラン精神医学テキストをもとに、資料を作成し他学生に説明する。 以下の6つの枠組みを1. 疫学、2. 病因、3. 診断と臨床的特徴、4. 鑑別診断、5. 経過と予後、6. 治療・介入など(カプラン参照)落とさないようにする。	西暦偶数年度開講。対面			カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)
OATD308	キャリア心理学	1	2.0	1・2	秋AB	土4,5	1F122講義室	岡田 昌毅	キャリア・カウンセリングの基礎である「キャリアの心理学」を概説し、その理論的背景であるキャリア関連の諸理論・アプローチを紹介する。さらに実際のキャリア・インタビューを通じて、諸理論・アプローチの現実への応用についてグループ毎に整理し、全体発表・討議を実施する。	OATB134と同一。対面			カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)
OATD311	非行・犯罪心理学	1	2.0	1・2	秋AB	火7,8	1F118講義室	原田 隆之	非行・犯罪について、心理学的な観点から、社会的な不適応行動としてとらえ、その要因を生物学的、心理学的、社会的観点から多面的にとらえるとともに、非行・犯罪のアセスメント、治療方法について実践的に解説する。	OATB135と同一。対面、オンライン(同時双方向型)			カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)
OATD321	心理・教育統計法	1	2.0	1	春AB	金7,8		藤 桂	社会科学における統計学の用い方の基礎を解説する。本講義は、「社会調査法」「データ解析法」履修のための基本要件である。	OATB060と同一。オンライン(同時双方向型)			カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)
OATD325	エビデンス・ベースト・プラクティス特論	1	2.0	1・2	春AB	火7,8	1F118講義室	原田 隆之	臨床心理学におけるエビデンスに基づく実践について、理念や概念だけでなく、必要なスキルを実践的に学ぶ。	西暦偶数年度開講。対面			カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)

リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)

専門科目(リハビリテーション科学学位プログラム_博士前期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATE202	特別支援教育特講		1	1.0	1・2	春C	金7,8	川間 健之介, 佐島 毅	特別支援教育の制度、カリキュラムを踏まえて視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱、及び発達障害の、その教育の理念と歴史及び現状について解説し、関連語分野との連携について概説する	オンライン(オンデマンド型)			リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)
OATE308	視覚障害学特論		1	2.0	1・2	春AB 春C	火7,8 集中	2F講義室9 佐島 毅	視覚障害児・者の感覚・知覚・認知の特性を概観し、医学的・心理学的視点を含めて包括的に発達、学習、教育支援の視点を学ぶ	8/3 対面 対面とオンライン(オンデマンド型)の併用。ただし、オンライン(オンデマンド型)とオンライン(同時双方向型)の併用に変更する可能性がある。授業の具体的なスケジュールはManaba等にて周知する。			リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)
OATE311	運動障害学特論		1	2.0	1・2	春AB	金7,8	川間 健之介	運動障害児(者)のリハビリテーションに関するアセスメントとインターベンションに焦点を当てて、医学的・教育的・心理学的側面から学習する	オンライン(オンデマンド型)			リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)
OATE312	知的障害学特論		1	2.0	1・2	秋AB	金7,8	2F講義室9 小島 道生, 小澤 温, 大村 美保	知的障害の心理や認知特性、教育課程や指導法、そして知的障害者に関わる福祉制度ならびにサービス評価や支援の実際について概説する	対面 ただし、状況によって対面とオンライン(同時双方向型)の併用に変更する可能性がある。どの回がオンライン(同時双方向型)になるのかといった具体的な授業スケジュールはManaba等で示す。			リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)
OATE317	発達障害学特論		1	2.0	1・2	秋AB	火7,8	2F講義室8 熊谷 恵子, 河野 禎之	中心的な学習内容は、通常の学級にいる知的障害のない発達障害で学習障害(LD)、注意欠如多動性障害(ADHD)、高機能自閉スペクトラム障害(HFASD)について、その認知的な特徴、発達上の特性、行動の問題を、生理・心理・教育的な視点から学ぶことである。まず、法的な裏付けおよび、2014年に国連と批准された障害者権利条約、その中に規定している合理的配慮について学ぶ。そして、発達障害の特徴とそれに伴いやすい感覚・運動の問題も合わせて学ぶ。それに加えて、発達障害児者および保護者に対するペアレントトレーニングなど、どのような支援が可能であるのかも具体的に学ぶ。障害児者に対する合理的配慮は、当然のことであるべきであるが、発達障害のある子どもは多くは通常の学級、通常の学校に在籍している。その子どもたちに対して彼らだけに合理的配慮を行う場合には、周りの子どもたちに対する「障害の説明」も必要になってくる。それをどのように行うべきなのか、発達障害児者が在籍する通常の学校の授業方法はどうかあるべきなのか、通常の学校での支援システムの中でどのような支援が考えられるのかについても学ぶ	「対面」の講義であるため、受講にあたり、所属学位プログラム(専攻)は問わないが、東京キャンパスにて「対面」が可能な状態の他の所属の大学院学生は事前に連絡することを受講できる。 対面 ただし、コロナ等感染症の状況によりオンライン(オンデマンド型)とオンライン(同時双方向型)の併用に変更する可能性がある。どの回が対面(または同時双方向型のオンライン)なのか等の授業の具体的なスケジュールはManaba等にて周知する。			リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)

スポーツウエルネス学学位プログラム(博士前期課程)

2-1-1 専門科目(選択)スポーツプロモーション領域

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATS120	スポーツイベント論特講		1	2.0	1・2	秋B	水7.8, 集中	高橋 義雄	スポーツプロモーションにおけるスポーツイベントの理念と意義を理解するとともに、スポーツイベントと地域形成、現代社会におけるスポーツイベント政策、プロフェッショナルスポーツの発展過程などについて、その歴史社会的な意味や現代的機能を探究する。スポーツイベントの社会的需要・供給関係を軸にした社会的構造・機能モデルに基づいて、スポーツプロモーションにおけるスポーツイベントの理念と意義を概説する。これに基づいて、現代社会におけるスポーツイベントのポジティブ/ネガティブな地域形成作用を分析し、そこから現代社会におけるスポーツイベント政策の社会的役割を分析する。また、プロフェッショナルスポーツの発展過程を分析し、その社会及び地域形成に関わる意味と機能について概説する。	集中講義10:00~、11/16, 11/30, 01EK106と同一。11/16, 11/30 対面	△	面接あり	スポーツウエルネス学学位プログラム(博士前期課程)

2-1-2 専門科目(選択)スポーツマネジメント領域

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATS210	スポーツマネジメント論特講		1	2.0	1・2	春A	火7.8, 集中	尾藤 貢	地域のスポーツクラブと学校の運動部の共存共栄がわが国のスポーツの更なる発展には求められている。マネジメントの面から、それぞれの活動における課題点を明確にし、今後、取り組むべき課題とそれらを解決するための具体的な取り組みについて概説する。	集中講義10:00~、4/27, 5/18, 01EK201と同一。4/27, 5/18 対面	△	面接あり	スポーツウエルネス学学位プログラム(博士前期課程)
OATS220	高度競技マネジメント論特講		1	2.0	1・2	秋A	水7.8, 集中	山口 香	国際競技力開発の理念としてのスポーツ・プロフェッショナルシステムの重要性およびシステム編成に必要な資源評価・査定・開発とそのシステムマネジメントの課題と方法論について理解する。国際競技力開発に関する世界的状況を概観し、我が国における課題と課題を明らかにする。そして、国際競技力開発の仕組みを「発掘・育成・強化・支援」の各開発段階における物的・人的・文化的資源のシステム化として概説し、システム編成に必要な資源評価・査定・開発とそのシステムマネジメントの課題と方法論について講義する。	集中授業、10/12, 11/2, 10:00~、01EK206と同一。10/12, 11/2 対面	△	面接あり	スポーツウエルネス学学位プログラム(博士前期課程)
OATS230	プロスポーツマネジメント論特講		1	2.0	1・2	春B	火7.8, 集中	安藤 梢	野球、サッカー、バスケットボールなど多くのプロスポーツが進展している。プロスポーツにおけるマネジメントの在り方や課題について理解する。アスリートのトレーニング・育成、クラブ運営、リーグ運営、地域との連携、などのプロスポーツにおけるマネジメントについて具体的な取り組みや課題について議論していく。また、女子プロリーグの在り方について論じると共に、男子プロリーグにはない課題や推進策についても探究していく。	集中講義10:00~、6/15, 6/22, 6/15, 6/22 対面	△	面接あり	スポーツウエルネス学学位プログラム(博士前期課程)

2-2 専門科目(関連)スポーツプロモーション分野

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATS311	スポーツプロモーション法制論特講		1	1.0	1・2	秋A	金7.8	齋藤 健司	スポーツプロモーションに関する法制全般を概説し検討する。また、今後のスポーツ立法政策について考える。スポーツ関連法制について概観し、スポーツプロモーションに向けたスポーツ法制の構造や諸課題を具体的な事例を通して講義する。アマチュアスポーツやスポーツ行政だけでなくプロスポーツやスポーツの経済的活動に関する法制も解説する。	西暦偶数年度開講 西暦奇数年度開講。01EK302と同一。			スポーツウエルネス学学位プログラム(博士前期課程)
OATS314	トップアスリートのトレーニング		1	1.0	1・2	秋C	金7.8	榎本 靖士, 渡部 厚一, 福田 崇, 木越 清信, 麻見 直美	トップアスリートが競技力を向上するためのトレーニング計画、トレーニング内容およびスポーツ科学の活用方法について学ぶ。スポーツ医学、スポーツ心理学、アスレティックトレーニング理論、体力トレーニング理論、コーチング理論などから最新の知見を提供しつつ、長期育成やベストパフォーマンスについて議論する。	01EK323と同一。対面			スポーツウエルネス学学位プログラム(博士前期課程)

3-1-1 専門科目(選択)ヘルスプロモーション領域

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATS410	ヘルスプロモーション論特講		1	2.0	1・2	秋AB	火7.8	久野 謙也, 田邊 解	健康増進政策とは何かを理解した上で、国、県、市町村、企業等における健康政策の現状と課題を把握する。さらに健康政策の具体的な策定方法における基礎的理解を深める。我が国及び諸外国における運動を中心としたヘルスプロモーションのための政策課題について概説し、その目的、内容、方法等の特徴を明らかにするとともに、我が国における今後のヘルスプロモーションの政策課題の方向性について講義する。	01EK401と同一。対面	△	面接あり	スポーツウエルネス学学位プログラム(博士前期課程)
OATS420	健康開発プログラム論特講		1	2.0	1・2	春AB, 春B	集中 金7.8	柴田 愛	行動科学の考え方を応用して、健康行動(主に、身体活動や運動)を推進させるプログラム開発に関する基礎的および専門的知識を獲得できるようにする。健康行動を推進させるプログラム開発に活用されている行動科学の理論やモデルの基礎的な考え方について理解を深めるとともに、それを応用した様々な実践例について学ぶ。	集中講義10:00~、4/13, 6/1, 01EK406と同一。4/13, 6/1 対面	△	面接あり	スポーツウエルネス学学位プログラム(博士前期課程)

3-1-2 専門科目(選択)ストレスマネジメント領域

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATS510	ストレスマネジメントシステム論特講		1	2.0	1・2	春A	金7.8, 集中	水上 勝義	ストレスマネジメントに関する知識と技能の習得と、ストレスマネジメントのシステム開発の理論と技法について習得する。ストレスの概念を理解し、ストレスがもたらす生体反応やストレスに関連した健康問題について学習する。さらに健康促進のための個人と社会におけるストレスマネジメントシステムについて学習する。	集中講義10:00~、4/20, 5/11, 01EK501と同一。4/20, 5/11 対面	△	面接あり	スポーツウエルネス学学位プログラム(博士前期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATS520	コミュニティメンタルヘルス論特講	1	2.0	1・2	秋AB	木7.8		辻 大士	社会的要因や国・地域の環境とメンタルヘルスとの関わりを学習する。さらに、それらの要因について、現状把握→課題設定→手がかり発見→実践・介入→効果検証→プログラム改善を円滑に進める、一連のマネジメントサイクルを学習する。	01EK621と同一。対面	△	面接あり	スポーツウエルネス学学位プログラム(博士前期課程)

3-2専門科目(関連)ヘルスプロモーション分野

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATS611	生活機能増進法論特講	1	1.0	1・2	秋C	水7.8		向井 直樹, 竹村 雅裕, 小崎 恵生, 金森 章浩, 河野 慎之	心身特性を把握し、運動機能、生命維持機能や認知機能などの向上に必要な運動プログラムを組み実践できることを目標とする。生活機能病(運動器、各種臓器、認知機能の障害)に焦点を当て、生涯にわたって生活機能の向上(衰えきりの予防)法の開発やその指導法に関して学習する。臨床スポーツ医学的アプローチを含む。	01EK621と同一。対面			スポーツウエルネス学学位プログラム(博士前期課程)
OATS612	健康増進基礎論特講	1	1.0	1・2	春C	金7.8		渡部 厚一, 國部 雅大, 松井 崇, 中田 由夫, 下山 寛之	健康増進の基礎的な知識、理解力、研究能力を高めるためにヒトの心身の形態、機能の自然科学的な知識、研究成果を学ぶ。心身の健康を維持・増進するためには運動、栄養、栄養などの知識、研究が必要である。本授業では運動が心身に与える影響を運動解剖学的、スポーツ生理学、生化学、筋生理学、疫学の観点からそれぞれの専門家が概説し健康増進の科学的理解と研究に資することを目的とする。	01EK622と同一。対面			スポーツウエルネス学学位プログラム(博士前期課程)
OATS613	健康社会論	1	1.0	1・2	春BC	集中		武田 文, 門間 貴史	地域・職域における健康問題とその心理社会的要因および保健政策・保健サービス事業について学び、健康問題解決への社会的アプローチを理解する乳幼児期・高齢期までの各ライフステージにおける健康問題を、家庭・地域・職場など生活領域別にとりあげ、各問題と社会環境要因との関わりを論じる。そして問題解決に必要な社会的支援策のあり方について、公衆衛生の観点から解説する。	集中講義10:00~7/13、7/27 01EK623と同一。7/13、7/27対面			スポーツウエルネス学学位プログラム(博士前期課程)
OATS614	健康支援の理論と実践	1	1.0	1・2	春C	木7.8		大蔵 倫博, 木塚 朝博, 麻見 直美, 中田 由夫, 雨宮 怜	国民の健康の保持・増進に向けた理論と実際現場での具体的な支援のあり方について学習する。集団や個人を対象として、各種の疾患や健康段階、ライフステージにおける課題解決に向けたさまざまな健康支援方法の理論と実践について概説するとともに、その具体的事例について講義する。	01EK624と同一。対面			スポーツウエルネス学学位プログラム(博士前期課程)